



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 58 号

2008.11.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- ー 第 15 回 八幡湿原再生協議会が開催
- ー 八幡湿原自然再生工事が進行
- ー 冬季閉館について
- ー 「フィールドガイド 清流 西城川」
を出版

活動報告

- ー サツキマスの観察会

観察会案内

- ー ゴギの産卵観察会
- ー 紅葉と冬芽の観察会
- ー 千町原の草刈り
- ー 巣箱・かんじき作り

お し ら せ

● 第 15 回 八幡湿原再生協議会が開催されます

開発により失われた湿原を再生し、地域の自然環境を保全するために広島県が進めている八幡湿原自然再生事業の協議会が 11 月 8 日土曜日の 13:00 より芸北文化ホールで開催されます。12:30 から傍聴の受付が行われます。傍聴定員は設けられていません。興味のある方は覗いてみてください。

● 八幡湿原自然再生工事が進行しています

環境省が補助し、広島県が行う「八幡湿原自然再生事業」の工事が二川キャンプ場の近く、霧ヶ谷で進んでいます。今年は、去年の工事区域より下流側で水路を改変し、導水路を作っています。近くにお越しの際には、ぜひ覗いてみて下さい。

● 冬季閉館について

高原の自然館は 11 月 25 日より冬季閉館となります。

● 「フィールドガイド 清流 西城川」を出版

水生生物の観察会でおなじみの内藤順一先生を中心に編集された「フィールドガイド 清流 西城川」が出版されました。芸北とはまた違った魅力たっぷりの備北や西城川のすばらしさがよく分かる一冊です。お求めは高原の自然館にてどうぞ。

「フィールドガイド 清流 西城川」
清流西城川編集委員会 210 ページ（フルカラー）
販売価格：1680 円

観 察 会 報 告

● サツキマスの観察会

開催日時：2008年10月13日（月）9:30

講師：内藤順一

すっかり稲刈りが済んだ八幡高原の柴木川には、サツキマスが遡上してきます。秋晴れの朝、八幡高原センターには、西中国山地自然史研究会からの参加者16名に加え、広島市昆虫館友の会の約30名が集いました。

現地での観察を前に、高原センターの広間で、内藤先生からお話しを聞きました。サツキマスやアマゴ、同じ仲間のサクラマスなどの生活史を、詳しい資料と一緒に解説してくださいました。また、サツキマスの産卵行動についても、先生が水中で撮影されたビデオとともに解説してください、一口に「サツキマスの産卵」と言っても様々なパターンがあることが分かりました。特に、湖に降ったサツキマスと、アマゴとの関係は興味深く聞くことができました。

室内でのレクチャーを終えたあと、みんなで観察ポイントに移動しました。観察ポイントでは、産卵床（卵を産むための場所）を2箇所を確認でき、サツキマスのペアや、そこにやってくるアマゴのオスも見ることができました。人影が多かったので、かなり警戒していたようです。観察対象と参加人数のバランスなどの課題が残りましたが、参加された方は、みなさん観察ができたようで、良かったと思いました。[し]



詳しい資料が配付された。



ビデオを上映しながら説明される内藤先生。



大人も子どもも、大勢の人が集まった。



大勢で川岸から覗き込んだ。



双眼鏡で観察する。



サツキマスのペア。



最後に講評と解説をする内藤先生と坂本学芸員。

【みなさんの印象に残った物】

「サツキマスの遡上の様子 身近に観察できたこと.」「ビデオによる先生の説明 (2)」「いい所でした」「サツキマスが最後に穴をほっていたところ」「この様な小さな川に、あんな大きな魚が上がってくるということ」「サツキマスが産卵する場所が身近の川にあったこと」「サツキマスが見れた事 (3)」「講師の説明とマス (大きい) のを見た時」「初めてのことでいい会だと思いました.」「サツキマスの生態がよくわかりました」「ビデオでサツキマスの産卵が見れたこと. 実際にサツキマスを見られたこと.」「川にあんな大きい魚 はじめて見ました.」「ビデオのマスの産卵のこと」「サツキマスのペアが見れたこと (2)」「映像による産卵の場面です.」「マスを見たことと、先生のお話」「サツキマスが大きかったこと」「サツキマスの目」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「どこに卵を産むのかよくわかった」「降湖型と降海型のサツキマスの違いについてよくわかった」「本物のあまごが横向きになった所」「水中カメラで見れなかったのがぜんねん」「ビワマス、サツキマス、サクラマスとアマゴとイワナの関係が良くわかって面白かったです。産卵の瞬間を見るのはよほど忍耐力がないと無理だと思いました.」「実際に目のあたりにできたのがうれしい」「浅い用水路にデカイサツキマスがいるのが不思議でした」「こんな身近なところでマスが産卵しているとはおどろきです」「大変楽しかった」「とてもわかりやすい説明で参加させていただいてよかったです。ありがとうございました.」「産卵を見ることができなかったのが残念です.」「オス. 見たかった」「マスの産卵状況に感動しました.」「魚も子孫残すための知恵. 素晴らしい.」「生き残ろうとする力」「初めて見て生き物のすばらしさに感動しました.」「おもしろかった.」「サツキマスが思ったより大きくて驚きました.」「樽床にはよく来るのですが、サツキマスを眼前にしたことは感動でした」「マスとアマゴの説明が興味深かったです.」「ビデオで決定的瞬間を見れたのもよかったです.」「農業ぜきの為上流へ行かれないのは残念だと思いました」「人の住むすぐ近くで見られることにおどろきました」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● ゴギの産卵観察会

開催日時：2008年11月1日(土) 9:30
集合場所：八幡高原センター
講師：内藤順一
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、小学生以下は無料)

サツキマスよりやや遅れて、ゴギが遡上し産卵を始めます。昨年はメスが産卵床を作る行動や産卵後の「舞の行動」を観察することができました。今回も産卵の様子がじっくりと見られるといいですね。

● 紅葉と冬芽の観察会

開催日時：2008年11月1日(土) 13:30
集合場所：高原の自然館
講師：斎藤隆登
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、小学生以下は無料)

ゴギの観察会に続いて、紅葉と冬芽の観察会を行います。花が咲いている時期では分からない植物の特徴を、先生お手製の資料を見ながら詳しく観察しましょう。ルーペがあるとさらに細かいところまで観察できおもしろさが倍増になります。冷え込む事が予想されます。防寒をしっかりとお願いします。

● 千町原の草刈り

開催日時：2008年11月23日(日) 8:30
集合場所：高原の自然館
準備：作業セット
参加費：500円、子ども無料

千町原の草原風景と、そこに住む生き物が失われようとしています。この大切な宝を守るため、ボランティア募集しています。作業内容は防火帯づくりで、樹木の伐採、草刈りと刈った草木の整理です。今回も「キッズプログラム」を用意しますので、小さなお子さんも安心してご参加ください。天候によっては寒いことがありますので、防寒をしっかりとってきて下さい。

● 巣箱・かんじき作り

開催日時：2008年12月6日(土) 9:30
集合場所：八幡高原センター
講師：暮町昌保、坂井健作
準備：工作ができる服装
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、高校生以下は無料)
材料費：巣箱300円、かんじき1200円

今後の観察会予定

2008年
12月7日 野鳥の観察
2009年
1月18日 冬を生きる動物たちの生態
2月21日 雪原のトレッキング
3月8日 雪原のトレッキング

編集後記：台風が来なかったからでしょうか。紅葉の進み具合がゆっくりと感じられます。風が吹かないと、色付いた葉が枝に残る時間も長いんですね。通勤時に山肌を見るときは、気分だけはなんとなくゆったりします。ただ、日々は着実に過ぎていて、もう閉館の月を迎えてしまいました。今年はどうなことができたかな、と、年末より一足早く、振り返っている自然館です。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax: 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info